

地方創生関係交付金および地域再生計画に係る事業の検証結果(令和7年度事業実績分)

	交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標 (KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
				指標名	単位	目標値	実績値		
新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金、旧地方創生推進タイプ)									
1	天草市デジタルアートの島創造事業(4年目)	◆目的 ・若者の地元就職率アップ及びUIJターン促進の環境整備に向けて、若者に魅力的な雇用の場や職業の選択肢を増やすことが必要である。そこで、天草にないゲーム・アニメ制作等のデジタルコンテンツ産業の創出を目指し、若者や女性の流出抑制やUIJターン促進及び定住促進を図り、持続可能な地域を創造する。 ◆内容 ○ゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ制作会社の誘致 ○ゲーム・アニメ等クリエイター育成、事業の普及啓発(天草工業高校情報技術科CG系列、小中学生、一般) ○デジタルコンテンツ産業人材獲得支援 ○(一社)デジタルアート天草の運営	64,817千円 うち交付金充当額 11,237千円	コンテンツ産業の市内の雇用者数	人	5	3	天草では、デジタルコンテンツ関連企業やクリエイターの誘致、次世代を担う人材の育成、市民がデジタルアートに触れる機会の創出に取り組みます。	◆「効果的であった」 ・天草工業高校の生徒達のシビックプライド醸成に役立った。 ・若い世代に対する育成の取り組みはとても良い。今後益々天草からクリエイターが育っていくなどの効果が期待できると感じている。 ・交付金を除く事業費の大きさを考えると、効果が有るとは言い難いが、普及段階なこともあるので、今後に期待します。
				コンテンツ産業の進出企業数	社	1	1	○企業誘致 ゲーム・映像・アニメ関連企業を誘致し、雇用の創出と仕事の幅の拡大を図ります。東京ゲームショウへの出展や台湾企業への誘致活動も進めます。	
				クリエイター育成講座への参加者数	人	30	77	○人材育成 天草工業高校やデジタルハリウッドSTUDIO天草と連携し、講座やイベントを充実させ、クリエイターを育成します。	
								○クリエイター誘致 情報発信や教育機関との連携、交流コミュニティの形成を進め、移住・定着しやすい環境を整えます。	
								○推進体制の強化 一般社団法人デジタルアート天草の運営基盤を強化し、SNSでの情報発信を充実させます。	
								○文化の発信 天草を題材としたゲームやアニメの制作支援、芸術祭やイベントの開催を通じて、デジタルアートの魅力を発信します。	
								これらの取り組みを通じて、企業やクリエイターが集まり、新たな文化と産業が生まれる「デジタルアートの島」天草を目指します。	
2	林業6次産業化推進事業(3年目)	◆目的 市内における林業の6次産業化を後押しし、天草産木材等の地産地消を促進するとともに、持続可能な森林経営の推進、林業関連事業者の経営の安定化・効率化により、林業の活性化を図る。 ◆内容 林業6次産業化推進に向けた検討業務 ・地域商社設立準備 ・市有林の活用方法検討業務 ・農・水産業との連携検討事業 ・森林信託実現可能性調査	41,106千円 うち交付金充当額 23,396千円	本交付金事業実施に伴う新規施業対象山林面積	ha	100	4	調査・実証により明らかになった森林の現状や未利用資源などの課題に対応するため、地域商社を設立し、森林資源の活用と地域課題の解決に取り組みます。	◆「効果的であった」 ・林業は他の産業よりサイクルが長いので、継続的な支援が必要。 ・地域商社の設立と共に、天草地域の建築業者と一緒に取り組んで欲しい。 ・近年プラスチック製品の遊具を使っている子供たちにとって、木育イベントの実施や公園内の木製遊具の設置など子供たちが木に触れる機会を創出し木工育に関する環境を整備することはとても必要だと感じる。今後も環境に優しい木を使った取り組みを引き続き進めてほしい。
				地域の森林資源を活用した教育・木育プログラムへの参加人数	人	30	202	人材育成や労働環境の整備、市有林・民有林の価値向上、販路開拓、高付加価値化を進めるほか、市有林を活用したJクレジットの創出など、新たな手法の導入を目指します。	
				本交付金事業実施に伴う新規林業就業者数(副業含む)	人	3	4		
				本交付金事業実施に伴う市産材の搬出量	m ³	400	663		

地方創生関係交付金および地域再生計画に係る事業の検証結果(令和7年度事業実績分)

	交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
				指標名	単位	目標値	実績値		
3	天草市ブルーカーボン推進事業(2年目)	◆目的 本市では、漁業就業者数の減少や磯焼け等による藻場面積の減少、漁獲量の減少等の課題があり、藻場の造成や漁業者創意による海藻の増・養殖の実証、植食魚類等の駆除時検討を行い、藻場の保全等の取組を行うことで、持続的な漁業生産に繋げ、漁業経営の安定化を図る。 ◆内容 藻場造成による良質な漁場の再生と水産資源の利活用による魅力的な地域づくりを目指す。また、今後の藻場造成・保全活動の展開・方向性について検討する。 (1)ブルーカーボン創出事業 計画の策定・調査、クレジットの申請・認証に向けた取組 (2)海藻増・養殖試験実証実験 養殖技術の確立に向けた取組 (3)有害生物駆除実証試験 実態調査等 (4)水産物掘り起こし協力隊 水産物掘り起こし (5)あまくさ海藻の森調査・実証試験 実態調査等	29,941千円 うち交付金充当額 6,600千円	本交付金事業実施に伴う農林水産就労者数	人	5	11	・これまでの藻場再生・造成活動の拡大(小学生とのアマモ場造成活動等)とともに、Jブルークレジット申請・認証に漁業者が自ら取り組む調査方法等の検証を行う。 ・海藻増・養殖試験実証実験については、昨年度のまでの実績を考慮し、より効果が期待できる地先での海藻増・養殖の栽培技術の確立を目指す。 ・有害生物駆除実証実験については、これまでの駆除を実施している地先(2地先)での実験を継続するとともに、これまで取り組んできたことが次年度以降自走できるよう、漁業者や関係機関とともに取り組んでいく。	◆「効果的であった」 ・天草は海に囲まれているため、継続的な取組に期待。
		本交付金事業実施に伴う新規の藻場造成面積	ha	2	1				
		本交付金事業実施に伴う新規の海藻増・養殖実施団体	団体	0	3				
		本交付金事業実施に伴う有害駆除実施団体	団体	3	6				
デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)									
4	天草市スポーツコミッションセンター(仮称)整備事業(繰越)	◆目的 天草市スポーツ拠点施設整備基本計画に基づき、市民一人ひとりが日常的にスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた新たな交流を創出する。 ◆内容 【天草市スポーツコミッションセンター(仮称)新築】 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 延床面積 2,448.81㎡ 施設概要 ・会議室兼審判室、トレーニング室、ラウンジ、多目的室、男女更衣室、事務室、2階観覧席(一般539席、車いす用14席)、エレベーター設置、倉庫、トイレ等	0千円 うち交付金充当額 0千円	スポーツコミッションセンターの利用者数(陸上競技場含む)	人	54,000	64,164	スポーツコミッションの取り組みは成果を上げている。今後とも市民の健康増進や競技力向上できる環境づくりと、スポーツ大会や合宿の誘致を推進し、新たな交流機会の創出によるスポーツを通じた地域活性化を図る。	◆「効果的であった」 ・熊本版文化的処方の一環として重要。 ・スポーツ大会・合宿等の誘致により交流人口増加や利用者増加が図られたようで、一般市民からみても成果が感じられる。今後更に関連する宿泊・飲食業者と連携し、島外からの誘客増加と売上増加に貢献できるような取り組みを期待している。
		大会・合宿誘致件数	件	33	34				

地方創生関係交付金および地域再生計画に係る事業の検証結果（令和7年度事業実績分）

	交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標 (KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
				指標名	単位	目標値	実績値		
認定中の地域再生計画									
5	天草市まち・ひと・しごと創生 推進計画(企業版ふるさと納 税関係)(6年目)	◆目的・内容 天草市人口ビジョンで展望した人口減少に伴う課題を解決す るために、天草市第2期総合戦略に掲げた4つの基本目標を達 成するため、企業版ふるさと納税を活用するもの。	寄附受領額 30,350千円 【充当事業】 ブルーカーボン推 進事業 10,800千円 通詞島沖イルカ環 境実態調査事業 10,800千円 天草未来人材育 成・就職促進事業 3,550千円 御所浦地域振興事 業 3,000千円 その他 2,200千円	若い世代の転出超過 (累計) 就業人口数の確保 都市部から本市への転 入(累計) 25～44歳女性の就業 率 子育てしやすい地域と 感じる市民の割合 安心して暮らせていると 感じる市民の割合	人 人 人 % % %	1,172 29,346 400 86.0 69.5 93.0	2,212 (参考値) 35,076 (参考値) 1,015 83.7 50.4 82.6 (※集計方 法の変更 により参 考値)	これまで、企業版ふるさと納税のパンフレットの作成し、関 係する事業者や都市部のふるさと会で配布する取組や、一 定額以上の寄附に対する感謝状贈呈式の開催など、寄附 事業者の拡大に努めてきた。 また、自治体が営業活動を行う余力や民間企業との繋が りが無いため、令和4年度から都市部の企業との繋がりの ある金融機関にコンサルティング業務を委託して寄附金の 獲得を目指し、これまで前年度を上回る寄附金を獲得してき た。 今後も充当する事業の内容等の充実を図りながら金融機 関とも連携し、寄附の獲得を目指していく。	◆「効果的であった」 ・市の収入が年々減少していく中、収入財源の企業版ふるさと納 税寄付は大変ありがたい。知恵があっても金がなえれば何もで きない、今後多くの寄付をいただき、天草市が発展するための 事業を展開する資金として活用してほしい。